

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 愛生館)
 事業所名 (特別養護老人ホームひまわり・安城)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率		3 / 4 ・ 1 / 2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
排泄支援		Dfree 排泄予測デバイス	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年 11月29日	3台	令和3年 11月29日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ①入居者におけるトイレ誘導(時間誘導)のタイミング
- ②入居者における膀胱容量の確認

上記2つの用途として活用を検討している。

活用しようとしていた入居者がコロナに罹患した、機器トラブルにより、活用しようと思ってもできなかった。

現在は機器トラブル解消後にすぐに活用できるように継続して排泄のミーティングを開催している。

【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

- ・現状は活用できていないが、排泄に関してミーティングを開催している。
- ・介護現場での課題を抽出し、その課題解決策にDfreeの活用を提案している。
- ・排泄の自立支援に向けて、対象者の選定している。
- ・介護士に対して、Dfreeにできること及び自立支援にどう繋がるか等について、情報共有している。

上記により、現場の排泄支援に対する意識は高くなっている。